

氏名 (法人にあっては名称)	アンビット・エナジー・ジャパン合同会社
住所	大阪市北区角田町8番47号 阪急グランドビル20階

自社等発電所(*1)の有無	無		
電気事業の概要	アンビット・エナジー・ジャパンは電力小売り事業者として、50kW未満の低圧電力を小規模事業者や一般家庭向けに販売しております。		
電気の供給における温室効果ガスの排出の抑制等に関する推進体制	電力買付を担当する部門にて、正確に需要家の電力需要量を予測し、再生エネルギーを含む電力の適量を買付けする事で、不必要な電力量の買付を削減、しいてはCO2排出係数の削減に努めています。需要家の方々にエアコンフィルター掃除をするなどの具体的な節電方法などを伝え、継続的な啓もう活動をしています。		
電気の供給における温室効果ガスの排出の量の抑制に関する措置及び目標	年度	基礎排出係数(*2)	調整後排出係数(*3)
	前年度実績 (2020年度)	0.525 (kg-CO ₂ /kWh)	0.525 (kg-CO ₂ /kWh)
	当年度目標 (2021年度)	極力低減 (kg-CO ₂ /kWh)	極力低減 (kg-CO ₂ /kWh)
	短期目標 (2023年度)	- (kg-CO ₂ /kWh)	- (kg-CO ₂ /kWh)
	長期目標 (2031年度)	- (kg-CO ₂ /kWh)	- (kg-CO ₂ /kWh)
	(目標に係る措置の考え方) 弊社では電力買付の多くを日本卸電力取引所から行っており、日本卸電力取引所調達分の排出係数の変動に応じて実績値が変動するため、明確な目標設定が難しい状態です。 今後、再生可能エネルギーの調達も検討しており、それを実現することにより、温室効果ガス提言に寄与して参ります。		

*1 自社等発電所とは、自己が所有する発電所及び経営支配下においている子会社が所有する発電所をいう。
 *2 基礎排出係数とは、市内への電気の供給に伴う二酸化炭素排出量(基礎二酸化炭素排出量)を市内への電気の供給量(電気供給量)で除したものをいう。
 *3 調整後排出係数とは、基礎二酸化炭素排出量に固定価格買取調整二酸化炭素排出量を足したものから、電気事業者が排出量調整無効化した国内及び海外認証排出削減量等を控除したものを、電気供給量で除したものをいう。

電気の供給における再生可能エネルギーの利用の拡大に関する措置及び目標	自社等発電所における再生可能エネルギーによる発電量の割合の拡大に関する措置及び目標		
	年 度	再生可能エネルギー発電量(*4)	再生可能エネルギー導入率(*5)
	前年度実績 (2020 年度)	0 (千kWh)	0.00 (%)
	当年度目標 (2021 年度)	0 (千kWh)	0.00 (%)
	短期目標 (2023 年度)	0 (千kWh)	0.00 (%)
	長期目標 (2031 年度)	0 (千kWh)	0.00 (%)
(目標に係る措置の内容)			
再生可能エネルギーを含む電力を調達しておりますが、調達電力に含まれる再生可能エネルギーの量およびパーセンテージについては確認が出来かねる状況です。今後再生エネルギーを含む電力調達に向けた情報収集を適宜行ってまいります。			
電気の供給における未利用エネルギー(*8)による発電量の割合の拡大に関する措置及び目標	調達分を含む再生可能エネルギーの環境価値の確保量の割合の拡大に関する措置及び目標		
	年 度	環境価値の確保量(*6)	環境価値の確保率(*7)
	前年度実績 (2020 年度)	0 (千kWh)	0.00 (%)
	当年度目標 (2021 年度)	0 (千kWh)	0.00 (%)
	短期目標 (2023 年度)	0 (千kWh)	0.00 (%)
	長期目標 (2031 年度)	0 (千kWh)	0.00 (%)
(目標に係る措置の内容)			
再生可能エネルギーを含む電力を調達しておりますが、調達電力に含まれる再生可能エネルギーの量およびパーセンテージについては確認が出来かねる状況です。今後再生エネルギーを含む電力調達に向けた情報収集を適宜行ってまいります。			
電気の供給における未利用エネルギー(*8)による発電量の割合の拡大に関する措置及び目標	現時点で未利用エネルギーの利用の計画はございません。適宜情報収集に努めてまいります。		
火力発電所における熱効率の向上を図るための措置及び目標	火力発電所を保有していないため、特段措置の実施をしておりません。		
本市の区域内に存する電気の需用者に対する地球温暖化の防止に資する取組	前述したとおり、広島市を含む各市の正確な電力需要量の予測から、不必要な電力の買い付けを予防する事によって地球温暖化防止につながるCO2排出係数の削減に取り組んでいるだけでなく、日々SNSを用いた電力使用量削減につながる情報発信を行っております。		
その他の地球温暖化の防止に貢献する取組	再生可能エネルギーを含む電力をJEPXにて買い付けしていることで、再生エネルギーの利用促進、しいては地球温暖化の防止に貢献へつながっていると考えております。		

*4 再生可能エネルギー発電量とは、自社等発電所における再生可能エネルギー（太陽光、風力その他非化石エネルギーのうち、エネルギーとして永続的に使用することができるもの）による発電量のうち市内分をいう。
 *5 再生可能エネルギー導入率とは、上記の発電量を自社等発電所における発電量のうち市内分を除いたものをいう。
 *6 環境価値の確保量とは、自社等発電所における再生可能エネルギーによる発電量、他の一般電気事業者等の発電所における再生可能エネルギーによって発電された電気の購入量及び購入した環境価値の量を合算したもののうち市内分をいう。
 *7 環境価値の確保率とは、上記の確保量を電気の供給量のうち市内分を除いたものをいう。
 *8 未利用エネルギーとは、発電に利用するエネルギーのうち、工場の廃熱又は排圧、廃棄物（バイオマスを除く）の燃焼熱、超高圧地中送電線からの廃熱、変電所の廃熱及び高炉ガスその他の副生ガス等のエネルギーをいう。